＜募集ページQRコード＞

農林交流センターニュース

第533号 2025.4.7

第246回 農林交流センターワークショップ
Tsukuba Bioscience Hall

発行：農林水産省農林水産技術会議事務局
筑波産学連携支援センターコーディネーション推進課
〒305-8601茨城県つくば市観音台2-1-9 Tel.029-838-7136

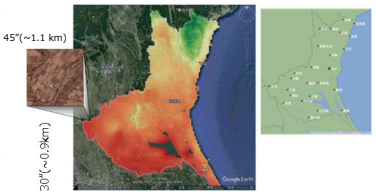
Pythonによるメッシュ農業気象データ利用講習会（初・中級者向け）

※Pythonに特化した講習会です。Pythonの基礎知識が無いために、気象データの利用を躊躇している方、マニュアルを見ながら気象データの利用を試みたが、うまくいかなかった方等に適しています。Pythonを利用したことがない方は６月１１日（水）の予備講習にご参加ください。（申込締切：5／11（日）迄）

近年の温暖化傾向に伴い、高温による農作物の減収や品質低下が各地で問題となっており、これを克服する技術の開発が全国で進められています。また、農業人口の高齢化に伴って「担い手」に集積する小規模で分散した圃場を効率的に経営するために、複数の作物や品種を組み合わせて機材の稼働や労働を平準化する技術が求められています。

メッシュ農業気象データシステムは、このような技術の開発を支えることを目標に開発された気象情報サービスで、1980年から来年までの広い期間の多彩な日別気象値（一部要素については時別値も取得することができます。）と、気候温暖化シナリオを、1kmメッシュで全国についてオンデマンドで取得することができます。

本講習会は、メッシュ農業気象データについて理解するとともに、プログラミング言語Pythonを使ってこれを処理する技術を取得します。



▲国内任意の地点における気象データを提供
（日別気象データを約1km×1kmの単位で
全国について取得できます。）

■受講方法（※②、③の参加は必須です。）

①6月11日（水）：環境構築相談・Python予備講習（オンライン開催）
②6月12日（木）：本講習（オンライン開催）
③6月26日（木）～27日（金）：グループ実習 （対面開催）
（※③会場：筑波産学連携支援センター茨城県つくば市観音台2-1-9）

■主　催

農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 （農研機構）

■対　象

産学官の研究・開発に従事している方で、気象データの農業利用に関心のある方
※ただし、過去にメッシュ農業気象データ利用講習会に参加したことのある方は、応募をお控えいただき、過去のテキストや登録利用者専用ページにあるWS241（令和6年度開催の同ワークショップ）の講義動画で復習を行うことをお勧めします。必要に応じてSlack#技術相談窓口もご利用ください。

■定　員

36名程度（参加費は無料）
※全日程に参加することとし、代理の方の参加は認めていません。

■コーディネーター

農研機構　農業環境研究部門　気候変動適応策研究領域
上級研究員　**佐々木　華織**（※他、講師・実習補助：10名）

重要!　申込条件（※他条件あり、HPにてご確認ください。）

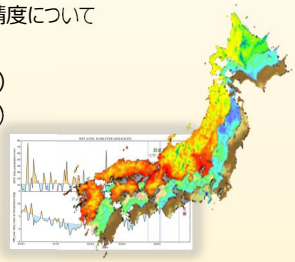
メッシュ農業気象データ利用者であること（本申込と同時に新規利用申請されても、本データを利用するための審査に間に合わない可能性があります）。

他、参加に関する諸条件は、
お申込み前に必ずホームページにてご確認ください。

講義と実習の概要

【 6月11日（水）】環境構築相談・予備講習（Pythonの基礎）※希望者のみ
10:00～12:00 利用環境構築（PCの設定）に関する相談
13:00～14:30【実習（予備講習）】1. Pythonの基礎
14:40～16:10【実習（予備講習）】2. numpyの基礎
16:10～17:00【実習（予備講習）】3. Pandasの基礎

【 6月12日（木）】本講習　※全員必須
（講義及びチュートリアルによるPythonを用いたメッシュ農業気象データの基礎）
09:00～09:10【オリエンテーション・ 講師自己紹介】
09:10～09:40【講義】メッシュ農業気象データの利用について
09:40～10:10【講義】メッシュ温暖化シナリオデータについて
10:20～10:50【講義】メッシュ農業気象データの精度について
10:50～11:30【講義】発育予測 DVR／DVS法
11:30～12:00【実習】4. 気象データの取得（１）
13:00～14:10【実習】4. 気象データの取得（２）
14:10～14:50【実習】5. 地理情報の利用
15:00～15:20【実習】6. csvファイルの読み書き
15:20～15:40【実習】7. データの集計
15:40～17:10【実習】8. 発育の予測



【 6月26日（木）】グループ実習（1日目）　※全員必須
13:00～13:05【開会】筑波産学連携支援センター事務局
13:05～14:10【オリエンテーション・実習補助及び参加者自己紹介】
14:10～14:50【講義】 課題解決に向けたプログラミングのコツ
15:00～16:00【グループワーク】 アプリケーション開発に関する検討（班ごと）
16:10～17:10【グループワーク】 アプリケーション開発（班ごと）

【 6月27日（金）】グループ実習（2日目）　※全員必須
09:00～12:00【グループワーク】 アプリケーション開発（班ごと）
13:00～15:00【発表】 アプリケーション開発結果発表（各班20分）
15:00～15:10【閉会】

ワークショップのお申込み方法＆お問い合わせ

お申込み方法について

筑波産学連携支援センターのホームページより、お申し込みください。

※ご所属機関で参加希望者を取りまとめて申し込みされる場合は、ホームページより申込書と申込アンケートをダウンロード後、ご所属機関の窓口にご提出いただき、ご所属機関の窓口からkoryu7129@cc.affrc.go.jp まで送信頂きますようお願いいたします。

申 込 方 法：左記により令和7年5月11日（日曜日）までにお申し込みください（必着）。
受講者決定：令和7年5月19日頃、メールにてお知らせいたします。

筑波産学連携支援センター　ホーム　検索　★詳しくはHPをご覧ください。

《お問い合わせ先》
農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター
コーディネーション推進課　森田・鈴木・木暮
TEL:029-838-7136　**E-mail**：koryu7129@cc.affrc.go.jp